



2024年6月19日

各位

上場会社名 株式会社ショクブン
代表者 代表取締役社長 吉田 朋春
(コード番号 9969 東証スタンダード、名証メイン)
問合せ先責任者 経理財務部長 宮原 利彦
(TEL 052-773-1011)

資金用途の変更に関するお知らせ

当社は、2024年6月19日開催の取締役会において、2021年2月15日付「第三者割当による新株式の発行並びに親会社及び主要株主の異動に関するお知らせ」にて公表しました「調達する資金の具体的な用途及び支出予定時期」について、下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

本資金調達以降、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化及び人手不足等の影響により、CRMシステム投資、基幹システム投資、新規営業所出店に係る投資について、立上げ時期が大きく遅れる状況となりました。

2023年5月の分類5類への移行等、社会経済活動の正常化が進む中で、今回、資金用途の支出予定時期を2025年3月まで延伸することといたしました。



2. 変更の内容

資金使途の変更の内容は以下のとおりです。変更箇所には下線を付しております。

(1) 変更前

具体的な使途	金額 (百万円) (注) 1	支出予定時期 (注) 2
① マーケティング投資 a. CRM システム投資(注) 3 b. マス広告投資	360	<u>2021年4月から2024年3月</u>
② 基幹システム投資	150	<u>2021年4月から2024年3月</u>
③ 設備投資 a. 拠点統廃合に係る償却資産の投資 b. 営業車両の買い替え c. フレッシュセンターへの設備投資	560	2021年4月から2024年3月
④ 新規営業所出店に係る投資 a. 新規営業所出店 b. 新規出店に係るトラックへの投資 c. 新規出店に係る営業車両への投資	300	<u>2022年4月から2024年3月</u>
⑤ 借入金の返済(注) 4	165	2021年4月から2021年6月

(注) 1. 当社は、本第三者割当増資の払込みにより調達した資金を、上記の資金使途に充当するまでの間、銀行預金にて安定的な資金管理を図る予定であります。

2. 資金を使用する優先順位は現時点では定めておらず、支出時期が早い事項から順次充当する予定です。

3. CRM とは Customer Relationship Management の略称で、CRM システムとは顧客情報を一元管理するためのシステムを指しております。

4. 借入金の返済額は、今後、当社を取り巻く事業環境を総合的に鑑み、投資資金に充当する可能性があります。資金使途又は金額に変更があった場合には、その内容を速やかに開示・公表いたします。



(2) 変更後

具体的な用途	金額 (百万円) (注) 1	充当状況 (百万円)	支出予定時期 (注) 2
① マーケティング投資 a. CRM システム投資(注) 3 b. マス広告投資	360	249	2021年4月から 2025年3月
② 基幹システム投資	150	19	2021年4月から 2025年3月
③ 設備投資 a. 拠点統廃合に係る償却資産の投資 b. 営業車両の買い替え c. フレッシュセンターへの設備投資	560	560	2021年4月から 2024年3月
④ 新規営業所出店に係る投資 a. 新規営業所出店 b. 新規出店に係るトラックへの投資 c. 新規出店に係る営業車両への投資	300	14	2022年4月から 2025年3月
⑤ 借入金の返済(注) 4	165	165	2021年4月から 2021年6月

- (注) 1. 当社は、本第三者割当増資の払込みにより調達した資金を、上記の資金使途に充当するまでの間、銀行預金にて安定的な資金管理を図る予定であります。
2. 資金を使用する優先順位は現時点では定めておらず、支出時期が早い事項から順次充当する予定です。
3. CRM とは Customer Relationship Management の略称で、CRM システムとは顧客情報を一元管理するためのシステムを指しております。
4. 借入金の返済額は、今後、当社を取り巻く事業環境を総合的に鑑み、投資資金に充当する可能性があります。資金使途又は金額に変更があった場合には、その内容を速やかに開示・公表いたします。

3. 今後の見通し

今回の資金使途変更による当社グループの当期の連結業績に与える影響は軽微と考えておりますが、今後の業績に与える影響について開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上